

一般会計

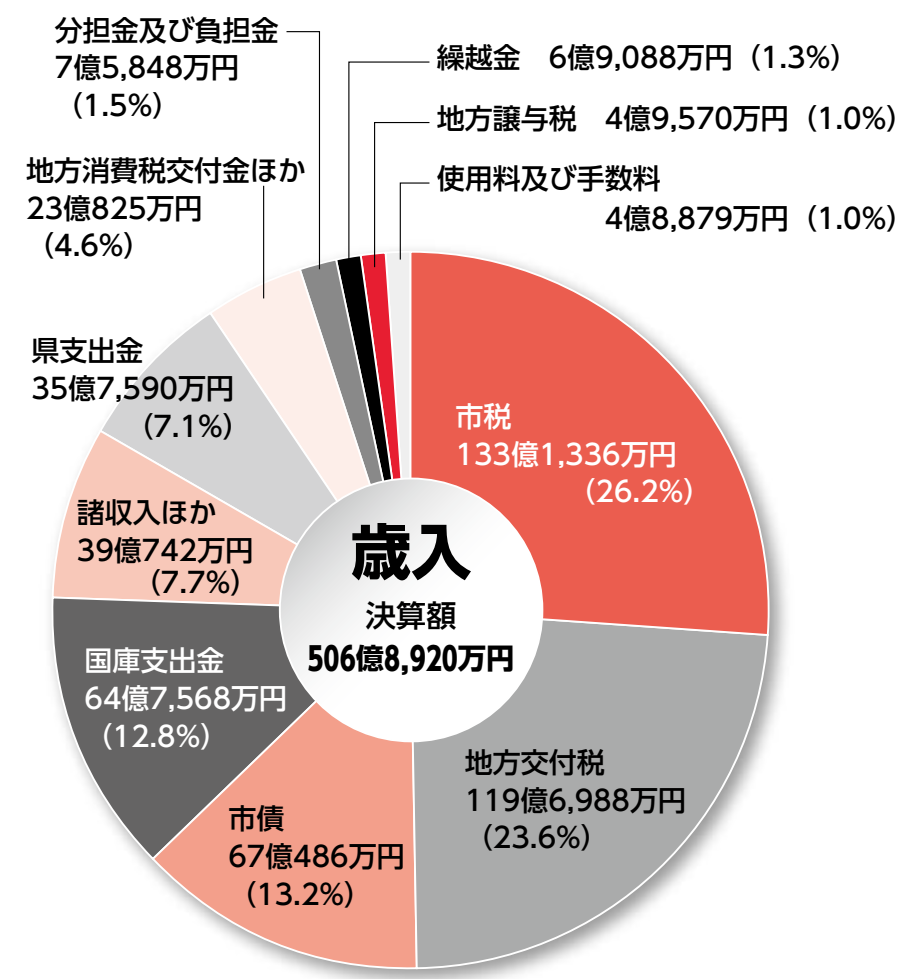
平成30年度決算の概要を

お知らせします

問財政課 32-2020

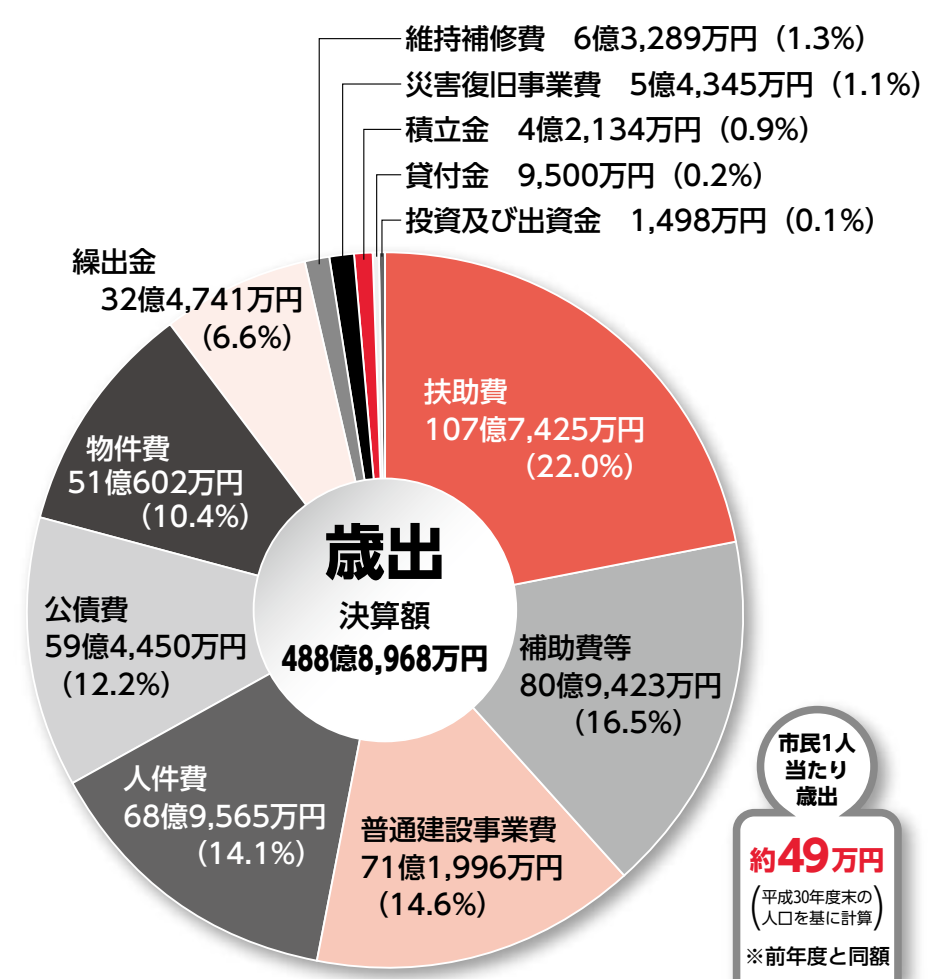
歳入の特徴 (前年度比)

- ◆ 歳入 5億6800万円減少 (1.1%減)
- ◆ 市税 (0.5%増) 市民税・軽自動車税が増加
- ◆ 地方交付税 (0.7%増) 特別交付税が増加
- ◆ 国庫支出金 (7.4%減) 臨時福祉給付金給付事業などが終了したため減少
- ◆ 市債 (6.9%減) ごみ焼却施設解体撤去事業や津山駅周辺整備事業などが完了したため減少



歳出の特徴 (前年度比)

- ◆ 歳出 7億7600万円減少 (1.6%減)
- ◆ 扶助費 (1.8%減) 臨時福祉給付金給付事業などが終了したため減少
- ◆ 普通建設事業費 (12.6%減) 津山駅周辺整備事業や河辺高野山西線関連事業、小中学校施設整備事業などが減少
- ◆ 人件費 (6.3%減) 退職者数の減少による退職手当が減少
- ◆ 積立金 (2.3%増) 公共施設長寿命化等推進基金への積立額が増加
- ◆ 災害復旧事業費 (650.5%増) 平成30年7月豪雨災害復旧事業による増加



普通会計

基金(預金)と市債(借金)

■ 基金 86億1,787万円
特定の事業に充てたり、財源不足を補ったりするために積み立てるものです。

市民1人当たり預金 約9万円
(平成30年度末の人口を基に計算) ※前年度比 約2万円減少

■ 市債 739億8,780万円
一時的なものを除いた借入金の中で、5～30年くらいの期間で返済します。

市民1人当たり借金 約73万円
(平成30年度末の人口を基に計算) ※前年度比 約1万円減少

主な事業は次ページ以降で紹介しています

- 扶助費 生活保護費や児童手当、医療費などです
- 補助費等 各事業や団体への補助や負担金などです
- 普通建設事業費 道路や橋、学校、公園などの建設・整備などのためのお金です
- 人件費 職員や特別職の給与、議員・各種委員の報酬などです
- 公債費 借り入れた市債の返済のためのお金です
- 物件費 業務委託や使用料などのお金です
- 繰出金 特別会計に繰り出すためのお金です